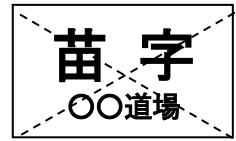


第3回全日本 ID(知的障がい者)柔道大会 要項

- 1 目的 知的障がい者柔道の普及発展と、さまざまな人々が互いに尊重し支えあう社会づくりを目指し、更なる目標を得る機会とする。また、今年度の強化指定選手を選考する大会の一つとする。
- 2 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
- 3 後援 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- 4 大会協賛 ダイコロ株式会社、日本文化大學、株式会社内田組、日本シニアライフ株式会社、共立速記印刷株式会社
- 5 日程 (1) 2022年8月19日(金) 開場 12:30
ア コーチ・審判会議 13:00~13:30
イ 計量 13:30~14:00 ・クラス分け 14:00~16:00
ウ 交流練習会 14:00~16:00
※試合参加資格のない選手も合同練習に自由に参加できます。
エ コーチ・審判会議 16:00~17:00
(2) 2022年8月20日(土) 試合 開場 9:30 開会式 10:30
- 6 会場 日本文化大學 立志館(〒192-0986 東京都八王子市片倉町 977 番地)
- 7 参加資格 (1) 本年度、全日本柔道連盟に登録済の者とする。また、コーチもしくは引率者が不在のチームは参加することができない。
(2) 知的障がい者手帳を所有している者で試合当日に15歳以上であること。
(3) 以下に示すレベルに当てはまることを、当該選手が所属する全柔連登録団体の指導者が判断した者。
ア レベル1: とても優れた柔道の技術を有しており、上記のような選手と同等に試合することができる。また力強い動作と素早い反応ができ、試合中に戦術を組み立てることができる。
イ レベル2: 障がいのない選手と乱取を同等に行うことができる程度の技術を有している。多少動作のスピードや力強さに欠けるが、かなり素早い反応ができ、試合を理解できている。
ウ レベル3: 障がいのない選手と乱取を楽しむことができる。動作やスピード感に多少の力強さはあるが、反応がやや遅く、試合を理解していない。
※前日のクラス分けにより、試合参加の有無が決定される場合がある。
- 8 参加申込み 所定の①参加申込書 ②メディカルチェックシート ③宿泊申込書(宿泊を希望する場合) に必要事項を記入の上、④知的障がい者手帳写しを添えて全日本柔道連盟振興課 idjudo@judo.or.jp に7月17日(日)までに申し込むこと。
※ ①「参加申込書」②「メディカルチェックシート」③「宿泊申込書(宿泊を希望する場合)」は、全柔連ホームページよりダウンロードすることができる。
- 9 参加費 無料
- 10 競技方法 (1) 競技規定 ア 全日本柔道連盟 ID 柔道試合審判特別規程及び本大会申し合わせ事項によって行う。試合時間は3分とする。
イ 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「判定」とする。延長戦は行わず、双方の

選手間に技による評価がない場合、または同等の場合、「指導」差が1差の場合
は旗判定で勝敗を決する。

- (2) ゼッケン ゼッケンを各自で下記の要領にて必ず縫い付けること(無ければ失格とする)。
ア ゼッケンのサイズは、横 30 cm～35 cm、縦 25 cm～30 cmとする。
イ 縫い付け位置は、後襟から約 5～10 cm 下部とし、対角線にも縫い付けること。
ウ 表記は、上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に所属名を記載する。
エ 字体はゴシック又は明朝で記載すること。



- (3) 組合せ 8月19日(金)のクラス分け終了後に主催者が決定する。
- (4) 表彰 各部とも第1位、第2位、第3位の入賞者を表彰する。また4位以下は敢闘賞とし、全員を表彰する。
- 11 傷害対策 (1) 主催者は出場選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。
(2) 大会会場に医師を配置し、不慮の負傷・疾病については応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。
- 12 脳震盪対応 選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。
(1) 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
(2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)。
(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
(4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 13 経費負担 交通費および宿泊費等は各チームの負担とする。
- 14 宿泊 斡旋を希望するチームは、所定の「宿泊申込書」から、必要事項を記入の上、7月17日(日)までに申し込むこと。
※共同宿泊施設のため、部屋割りは全柔連で決定するものとする。
宿泊先：大学セミナーハウス
(〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1 TEL：042-676-8511)
- 15 帯同者の有無(観客を含む)
1 選手あたり2名まで帯同者(観客を含む)を認める。もし、それ以上に帯同者を希望する場合は、事前に事務局へその旨を通知すること。
- 16 コロナ対策 健康記録表兼同意書の提出・新型コロナウイルス感染症検査については、以下の通りとする。なお、健康記録表兼同意書のフォーマットは、参加申込みを完了した所属の代表者に後日メールにて送付する。
① 会場に入場する選手、指導者等すべての入場者が健康記録表兼同意書を提出すること
② 以下に該当する選手は各自が選んだ医療機関または検査機関(郵送検査含む)でPCR検査を実施し、受付時に陰性証明書または、「陰性」の検査結果を提出すること。
- 8月9日以降にチーム内に感染者、または8/12以降に濃厚接触者が発生した場合
- 8月12日以降に自宅や寮等で共に生活する者が濃厚接触者となった場合
③ ②に該当しない場合は、チームに感染のない事を証明するため、「健康記録表

兼同意書」内、「所属の証明欄」に8月11日以降の日付でチーム責任者(監督等)の署名捺印を義務付ける。

上記①②③は本大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的とする。本記録表に記入頂いた個人情報、検査結果等の個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場・出場可否の判断および必要なお連絡のために利用する。

匿名化した集計・検査結果を今後のスポーツ大会開催及びコロナウイルス対策のための研究及び提言のために使用することがある。(研究及び提言のための使用に際しては、個人が特定できないように匿名化された情報を使用するものとし、研究を行う者は、個人が特定できない状態で本件情報を扱うものとする。)また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き本人の同意を得ずに第三者に提供しない。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがある。

上記①②または③に基づき、参加可否を判断する。上記①②または③にご協力いただけない方は本大会に参加できないものとする。

- 17 その他 (1)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、大会時に選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (2)ゴミは各所属、各自でまとめて持ち帰ること。
- (3)所属選手が試合をしている際に、コーチもしくは引率者が座るための「引率者席」を試合場横に設置する。

18 個人情報、肖像権の取り扱いについて

大会中に撮影された写真や動画は、大会プログラム、全日本柔道連盟公式 SNS、制作物等に掲載される場合や、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

なお、提出された個人情報は、上記目的以外に使用しない。

参加申込用紙の提出をもって、上記取り扱いについて承諾したものとする。

《参加申込書及び大会に関する問い合わせは下記まで》

公益財団法人全日本柔道連盟 振興課 (担当: 佐々木)

TEL: 080-2281-3486

E-Mail: idjudo@judo.or.jp